

プログラム

## 第1日目 2023年6月29日（木）

9:30 受付開始  
9:30～10:00 ポスター設置

9:55～10:00 開会の辞 年会長 中嶋 順一（東京都健康安全研究センター）

### 10:00～10:50 若手発表

座長 森川 嘉文（岐阜県警・科捜研）、長谷川 弘太郎（浜松医大・法医）

Y-1

Novichok 分解物の HILIC-MS/MS による分析  
○大塚 麻衣、山口 晃巨、宮口 一（科学警察研究所）

Y-2

食物アレルギーの要因となる植物種の多項目同時DNA鑑別法の開発  
○騎馬 由佳<sup>1</sup>、夏原 大悟<sup>2</sup>、君山 柚月<sup>1</sup>、宮澤 茉莉<sup>1</sup>、佛生 智哉<sup>2</sup>、山室 匡史<sup>3</sup>、  
柴田 隆行<sup>2</sup>、北村 雅史<sup>1</sup>（<sup>1</sup>城西大学、<sup>2</sup>豊橋技術科学大学、<sup>3</sup>科学警察研究所）

Y-3

結晶スポンジ法による合成カンナビノイドの単結晶 X 線構造解析  
○渡邊 慎平<sup>1</sup>、菊池 貴<sup>2</sup>、岩井 貴弘<sup>1</sup>、松下 律子<sup>1</sup>、高津 正久<sup>1</sup>、本多 定男<sup>3</sup>、中西 俊雄<sup>1</sup>、  
中村 唯我<sup>3</sup>、瀬戸 康雄<sup>1</sup>（<sup>1</sup>理化学研究所、<sup>2</sup>（株）リガク、<sup>3</sup>高輝度光科学研究センター）

Y-4

ゾピクロンの迅速なキラル分析法の開発  
○瀬川 尋貴、岡田 侑己、山室 匡史、桑山 健次、辻川 健治、金森 達之、岩田 祐子（科警研）

### 10:50～11:50 一般講演 1

座長 花尻（木倉） 瑠理（国立衛研）、志摩 典明（大阪府警科捜研）

O-1

代替キャリアガスを用いたGC/MSによる薬物スクリーニングの検討  
○小笠原 亮、中村 貞夫（アジレント・テクノロジー）

O-2

簡易化液抽出カラムNovumを用いた全血中ネオニコチノイド系殺虫剤のLC-MS/MSによる  
一斉分析法  
○小川 匡之<sup>1,2</sup>、岩井 雅枝<sup>1,2</sup>、松尾 友仁<sup>1,2</sup>、土田 栞<sup>3</sup>、久保 勝俊<sup>1,4</sup>、近藤 文雄<sup>1,3</sup>、  
妹尾 洋<sup>1,2</sup>（<sup>1</sup>愛知医大・法医学、<sup>2</sup>愛知医大・薬毒物分析センター、<sup>3</sup>中部大・生命健康科学、  
<sup>4</sup>愛知学院大・歯）

O-3

固相マイクロ抽出と携帯型GC-MSを用いた血中・尿中アルコールの測定

○井上 博之<sup>1</sup>、小林 恒夫<sup>2</sup>、小泉 友佑菜<sup>1</sup>、時田 健一<sup>2</sup>、山本 莊一郎<sup>2</sup>、岡馬 恵介<sup>1</sup>、堀岡 希衣<sup>1</sup>、石井 名実子<sup>1</sup>、本村 あゆみ<sup>1</sup>、馬上 千裕<sup>1</sup>、東山 尚光<sup>2</sup>、矢島 大介<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>国福大・医・法医、<sup>2</sup>エス・ティ・ジャパン)

O-4

薬物定量のバリデーション：LC-MS/MSによるレンボレキサントの定量への応用

○ウォーターズ ブライアン<sup>1</sup>、中野 涼子<sup>1,2</sup>、松末 綾<sup>1</sup>、高山 みお<sup>1</sup>、柏木 正之<sup>1</sup>、久保 真一<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>福岡大学医学部法医学教室、<sup>2</sup>福岡大学医学部麻酔科学教室)

O-5

$\gamma$ -カルボリンコア系新規合成カンナビノイドCumyl-PEGACLONEおよび5F-Cumyl-PEGACLONEが行動に及ぼす影響の時間軸解析

○Jorge Carlos Pineda Garcia<sup>1</sup>、李 任時<sup>1,2</sup>、花尻 瑠理<sup>3</sup>、田中 嘉孝<sup>1</sup>、石井 祐次<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>九大院薬、<sup>2</sup>中国薬大、<sup>3</sup>国立衛研生薬部)

**12:10～13:10 ランチョンセミナー** 主催 関東化学株式会社

**13:25～14:25 ポスター発表 (奇数番号)**

**14:45～16:05 社員総会・会員集会**

**16:10～16:55 教育講演**

座長 中嶋 順一 (東京都健康安全研究センター)

有機化学ができること

○高橋 秀依 (東京理科大学)

**16:55～17:25 吉村賞受賞講演**

座長 大森 毅 (警察庁科学警察研究所)

DNA 情報を利用した大麻検査法の開発に関する研究

○山室 匡史 (科学警察研究所)

**17:40～19:40 懇親会**

## 第2日目 2023年6月30日（金）

9:10 受付開始

9:30～11:30 シンポジウム「温故知新 ～忘れられない過去の事例から学ぶ～」

座長 中嶋 順一（東京都健康安全研究センター）、片木 宗弘（大阪医科薬科大学）

S-1

トリカブト事件と私

○大野 曜吉（日本医科大学）

S-2

サリン事件の事後・事件管理における毒物分析実務者としての教訓

○瀬戸 康雄（理化学研究所放射光科学研究センター）

S-3

今を知って未来を拓く：了解現在，開拓未来

○久保 真一（福岡大学医学部法医学教室）

11:50～12:50 ランチョンセミナー 主催 株式会社島津製作所

13:00～14:00 ポスター発表（偶数番号）

14:00～14:15 ポスター撤去

14:25～15:45 若手企画「知の泉 ～みんなで解決、身近な悩み～（仮）」

オーガナイザー：若手研究者委員会

座長：草野 麻衣子（昭和大・法医）、久恒 一晃（愛知県警・科捜研）

登壇者：坂 幹樹（東京大学医学系研究科法医学教室）

土井 崇広（大阪健康安全基盤研究所）

志摩 典明（大阪府警科学捜査研究所）

渡辺 淳（島津製作所）

**15:45~17:10 一般講演2**

座長 福家 千昭（横市大・法医）、宮元 礼生奈（警視庁科捜研）

O-6

法医学におけるPBPKの応用

○西堀 汰一<sup>1,2</sup>、原田 和生<sup>1,2</sup>、徳川 友梨<sup>1,2</sup>、久世 春樹<sup>1,2</sup>、吉田 春陽<sup>1,2</sup>、井上 豪<sup>1</sup>、松本 博志<sup>2</sup>  
（<sup>1</sup>阪大・薬、<sup>2</sup>阪大・法医）

O-7

胃内プロトン濃度と血中覚せい剤の胃内への移行量との関係

○吉留 敬<sup>1,3</sup>、三浦 雅布<sup>1,3</sup>、守屋 文夫<sup>2,3</sup>（<sup>1</sup>川崎医科大学法医学、<sup>2</sup>川崎医療福祉大学保健看護学部保健看護学科、<sup>3</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学分野）

O-8

毛髪中スキサメトニウム分析法の確立及び検出事例

○佐々木 啓子<sup>1</sup>、和田 美暁<sup>1</sup>、鎌田 寛恵<sup>1</sup>、新田 篤志<sup>1</sup>、志摩 典明<sup>1</sup>、片木 宗弘<sup>2</sup>、佐藤 貴子<sup>2</sup>、西岡 裕<sup>1</sup>（<sup>1</sup>大阪府警科捜研、<sup>2</sup>大阪医科薬科大学法医）

O-9

オレキシン受容体拮抗薬の頭髪中への取り込み挙動

○新田 篤志<sup>1</sup>、志摩 典明<sup>1</sup>、鎌田 寛恵<sup>1</sup>、和田 美暁<sup>1</sup>、松本 謙吾<sup>1</sup>、掛橋 秀直<sup>1</sup>、藤井 史保子<sup>1</sup>、松田 駿太郎<sup>1</sup>、鎌田 徹<sup>1</sup>、片木 宗弘<sup>2</sup>、佐藤 貴子<sup>2</sup>、西岡 裕<sup>1</sup>（<sup>1</sup>大阪府警・科捜研、<sup>2</sup>大阪医科薬科大・法医）

O-10

染毛処理が毛髪中ゾルピデムの分布形状に与える影響

○志摩 典明<sup>1</sup>、新田 篤志<sup>1</sup>、佐々木 啓子<sup>1</sup>、片木 宗弘<sup>2</sup>、佐藤 貴子<sup>2</sup>、西岡 裕<sup>1</sup>（<sup>1</sup>大阪府警・科捜研、<sup>2</sup>大阪医薬大・法医）

O-11

電子タバコ用リキッドに含有される $\Delta^9$ -および $\Delta^8$ -テトラヒドロカンナビノールアセテートの保存時における安定性

○辻川 健治<sup>1</sup>、川上 貴大<sup>2</sup>、荒木 渉<sup>3</sup>、佐藤 高広<sup>3</sup>、伊藤 さよ<sup>3</sup>、和泉 要<sup>4</sup>、保戸田 滉樹<sup>5</sup>、岩田 祐子<sup>1</sup>（<sup>1</sup>科警研、<sup>2</sup>愛知科捜研、<sup>3</sup>山形科捜研、<sup>4</sup>和歌山科捜研、<sup>5</sup>神奈川科捜研）

O-12

インターネット上で流通するTHCアナログ含有を標榜する製品の分析と成分の同定

○田中 理恵、花尻（木倉） 瑠理（国立衛研）

**17:10~17:15 閉会の辞** 次期年会長 小椋 康光（千葉大院薬）

## ポスターセッション演題

ポスター設置時間	6月29日(木) 9:30 ~ 10:00
ポスター掲示期間	6月29日(木) 10:00 ~ 6月30日(金) 14:00
ポスター発表時間(質疑応答)	
奇数番号の演題	6月29日(木) 13:25 ~ 14:25
偶数番号の演題	6月30日(金) 13:00 ~ 14:00
ポスター撤去時間	6月30日(金) 14:00 ~ 14:15

### P-1

HPLC-Q-ToF-MSを用いた死体全血中インスリン製剤の高感度・迅速分析の検討

○永澤 明佳<sup>1,2</sup>、山岸 由和<sup>1</sup>、千葉 文子<sup>1,3</sup>、山口 るつ子<sup>1,3</sup>、星岡 佑美<sup>1</sup>、猪口 剛<sup>1</sup>、小椋 康光<sup>2</sup>、岩瀬 博太郎<sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup>千葉大院医・法医、<sup>2</sup>千葉大院薬・法中毒、<sup>3</sup>東大院医・法医 )

### P-2

各種臓器を用いた一酸化炭素ヘモグロビン飽和度分析

○矢島 大介<sup>1</sup>、望月 里菜<sup>2</sup>、井上 博之<sup>1</sup>、本村 あゆみ<sup>1</sup>、石井 名実子<sup>1</sup>、岡馬 恵介<sup>1</sup>、馬上 千裕<sup>1</sup>  
( <sup>1</sup>国際医療福祉大学医学部法医学、<sup>2</sup>国際医療福祉大学医学部 )

### P-3

ガラナエキスからの吸入カフェイン類のLC-MS/MS分析と電子タバコへの応用

○和田 光弘<sup>1</sup>、高田 誠<sup>1</sup>、猿渡 すずな<sup>1</sup>、武藤 純平<sup>1</sup>、岸川 直哉<sup>2</sup>、黒田 直敬<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>山口東京理科大学薬、<sup>2</sup>長崎大院医歯薬 )

### P-4

死因診断マーカーの発見を目的としたメタボローム解析法の構築

○奥田 勝博、浅利 優、高橋 悠太、森 香苗、難波 亮、清水 恵子 (旭川医大法医)

### P-5

演題取り下げ

### P-6

迅速な代謝物スクリーニングを目的とした組換え体加水分解酵素の検討

○奈女良 昭<sup>1</sup>、斉藤 剛<sup>2</sup>、小野 健大<sup>1</sup>、長尾 正崇<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>広島大院・法医学、<sup>2</sup>東海大・医・救命救急医学 )

### P-7

窒素キャリアを使用したガスクロマトグラフィー質量分析法の検討 (第1報:大麻成分分析)

○嘉数 一路<sup>1,2</sup>、福家 千昭<sup>3</sup>、安慶名 顕栄<sup>1</sup>、仲本 壮志<sup>1</sup>、上田 まり<sup>1</sup>、池松 夏紀<sup>2</sup>、二宮 賢司<sup>2</sup>、深沢 真希<sup>2</sup> ( <sup>1</sup>沖縄県科捜研、<sup>2</sup>琉球大・法医、<sup>3</sup>横市大・法医 )

P-8

超臨界流体クロマトグラフ-四重極飛行時間型質量分析計（SFC-QTOF-MS）を用いたED治療薬及び類縁体の異性体分析について

○河村 麻衣子、最所 和宏、伊藤 美千穂、花尻（木倉） 瑠理（国立医薬品食品衛生研究所）

P-9

血液・尿に添加した24種の合成カンナビノイド代謝物の安定性の分析

○南方 かよ子、山岸 格、野澤 秀樹、長谷川 弘太郎、三由 尚知、鈴木 雅子、権守 邦夫、鈴木 修（浜松医大・法医）

P-10

指定成分ドオウレン中アルカロイドの分析

○岩越 一之、増淵 珠子、松野 郁子、瀬川 雪乃、佐藤 佑亮、貞升 友紀（東京都健康安全研究センター）

P-11

シート状の製品に含まれる LSD 構造類似化合物の分析

○丹 佑太、野副 桂右、高田 のどか、宗像 健人、儘田 博志、三輪 洋一（関税中央分析所）

P-12

シリカモリス捕集剤を使用した CBD リキッドの揮発性成分の分析

○外館 史祥<sup>1,2</sup>、岩橋 孝祐<sup>1</sup>、北市 清幸<sup>2</sup>、熊坂 謙一<sup>1</sup>（<sup>1</sup>神奈川県衛生研究所、<sup>2</sup>岐阜薬科大学）

P-13

SNRI抗うつ薬Venlafaxine中毒死の一剖検例

○前橋 恭子、坂本 圭菜、岩楯 公晴（慈恵医大・法医）

P-14

オランザピンが高値で検出された事例における薬物間相互作用の検証

○吉田 春陽<sup>1,2</sup>、原田 和生<sup>1,2</sup>、井上 豪<sup>1</sup>、松本 博志<sup>2</sup>（<sup>1</sup>阪大・薬、<sup>2</sup>阪大・法医）

P-15

CBD使用者尿が簡易薬物検査キットでTHC陽性を示した事例

○草野 麻衣子<sup>1</sup>、加藤 晶人<sup>2</sup>、安部 寛子<sup>3</sup>、藤城 雅也<sup>1</sup>、森 ちひろ<sup>1,2</sup>、松山 高明<sup>1</sup>（<sup>1</sup>昭和大学医学部法医学講座、<sup>2</sup>昭和大学医学部救急・災害医学講座、<sup>3</sup>株式会社バイオデザイン）

P-16

竹酢液と入浴剤を混ぜて飲用し死亡した1剖検例

○池松 夏紀<sup>1</sup>、嘉数 一路<sup>1,2</sup>、二宮 賢司<sup>1</sup>、深沢 真希<sup>1</sup>（<sup>1</sup>琉球大・法医、<sup>2</sup>沖縄県警・科捜研）

P-17

ピロリジノフェン誘導体による神経細胞毒性機序の解明 -ミトコンドリアの関与-

○松永 俊之<sup>1</sup>、森川 嘉文<sup>2</sup>、酒井 優治<sup>2</sup>、神保 俊輔<sup>2</sup>、笹島 康秀<sup>2</sup>、末次 耕一<sup>2</sup>、佐藤 清人<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>岐阜薬大・生体情報、<sup>2</sup>岐阜県警・科捜研)

P-18

ピロリジノフェン誘導体を標的とした薬物耐性モデルの構築と遺伝子発現の網羅的解析 (第一報)

○酒井 優治<sup>1</sup>、江川 大祐<sup>2</sup>、服部 純大<sup>2</sup>、森川 嘉文<sup>1</sup>、末次 耕一<sup>1</sup>、永井 淳<sup>3</sup>、道上 知美<sup>3</sup>、  
松永 俊之<sup>2</sup> (<sup>1</sup>岐阜県警・科捜研、<sup>2</sup>岐阜薬大・生体情報、<sup>3</sup>岐阜大医・法医)

P-19

メタンフェタミン投与ラットの心臓におけるERストレスおよびapoptosis関連タンパクの発現量の変化

○大瀧 純、菅野 さな枝、加藤 秀章、福田 真未子、中村 昌美、青木 康博 (名市大法医)

P-20

ベンジルシブトラミンの代謝と肝細胞毒性の関連 (第二報)

○森川 嘉文<sup>1</sup>、江川 大祐<sup>2</sup>、神保 俊輔<sup>1</sup>、酒井 優治<sup>1</sup>、笹島 康秀<sup>1</sup>、末次 耕一<sup>1</sup>、佐藤 清人<sup>1</sup>、  
松永 俊之<sup>2</sup> (<sup>1</sup>岐阜県警・科捜研、<sup>2</sup>岐阜薬大・生体情報)

P-21

エチゾラムの死後代謝に対するヘモグロビンの影響

○山岸 由和<sup>1</sup>、西郷 鈴音<sup>2</sup>、高橋 一聡<sup>3</sup>、岩瀬 博太郎<sup>1</sup>、小椋 康光<sup>1,4</sup> (<sup>1</sup>千葉大院医、<sup>2</sup>千葉大薬、  
<sup>3</sup>千葉大院園芸、<sup>4</sup>千葉大院薬)

P-22

3-FPE誘導体の合成

小代 亜純<sup>1</sup>、高橋 美乃<sup>1</sup>、瀬崎 浩平<sup>1</sup>、中村 佳代<sup>1</sup>、牧野 宏章<sup>2</sup>、斎藤 顕宜<sup>1</sup>、○高橋 秀依<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東京理科大学、<sup>2</sup>武蔵野大学)

P-23

大麻の部位識別に資する組織特異的DNAメチル化領域の探索

○山室 匡史、岩田 祐子、岡田 侑己、瀬川 尋貴、桑山 健次、辻川 健治、金森 達之 (科警研)

P-24

PBPKモデルを用いた火災関連死シアン曝露実態の解析

○徳川 友梨<sup>1,2</sup>、原田 和生<sup>1,2</sup>、西堀 汰一<sup>1,2</sup>、井上 豪<sup>1</sup>、松本 博志<sup>2</sup> (<sup>1</sup>阪大・薬、<sup>2</sup>阪大・法医)